

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 24 日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス 上場取引所 東証・名証 第 1 部
 コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>
 代表者 代表取締役社長 牧 誠
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 松尾 民男 TEL (052) 251 - 6891

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	33,647	10.0	1,297	36.2	1,401	32.7	777	28.9
19年3月期第1四半期	30,586	18.3	2,034	16.1	2,081	32.0	1,093	55.8
19年3月期	134,547	-	5,148	-	5,446	-	2,728	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	33	63	33	63
19年3月期第1四半期	47	29	47	28
19年3月期	118	1	118	0

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第1四半期	59,123	27,468	46.5	1,189	20
19年3月期第1四半期	50,757	25,810	50.9	1,116	37
19年3月期	62,575	26,962	43.1	1,166	24

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	2,963	752	668	6,424
19年3月期第1四半期	147	70	295	9,741
19年3月期	1,379	710	2,993	7,979

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	15 00	15 00	30 00
20年3月期 (予想)	15 00	15 00	30 00

3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）【参考】

（％表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	72,000	15.6	1,450	56.2	1,450	57.4	850	57.0	36	75
通期	158,000	17.4	5,500	6.8	5,500	1.0	3,200	17.3	138	37

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動）： 有

[新規 1社（社名 株式会社 アーベル ）

除外 1社（社名 MELCO ASSET MANAGEMENT LIMITED）]

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

〔（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期は、新OSの発売直後にもかかわらずパソコンやその周辺機器市場は販売数量が伸びず厳しい状況となりました。

こうした状況下で、当社グループは、メモリ製品の主要部材であるDRAM価格が大幅に下がる局面を最大限に活用し、コスト低減と販売価格の大幅な引き下げにより、攻勢に転ずることができました。

ストレージ製品は前年同期比12.9%増と高い成長率を維持すると共に、ネットワーク製品も厳しい環境ながら前年並みの売上高を確保できました。さらに、当社グループの成長戦略のキープロダクツであるデジタルホーム製品では、前年同期には無かったワンセグチューナ「ちょいテレ」の売上が大きく寄与し、また、サプライ・アクセサリ製品では、今期から連結子会社になった株式会社アーベルの売上げが上乘せになり売上高が大幅に増加しました。これら新期に開拓している分野の売上増加により、全体の売上高は前年同期を10%上回ることができました。

利益面では、前年同期にはフラッシュメモリの特殊要因による利益があったため、当中間期は前年より大幅に低い計画を立てましたが、メモリ製品やストレージ製品の利益率改善により当初の計画を上回って推移し、当中間期の営業利益の計画に対し89.4%の達成率となりました。

これらにより、当第1四半期の売上高は336億47百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益12億97百万円（同36.2%減）、経常利益14億1百万円（同32.6%減）、四半期純利益7億77百万円（同28.9%減）となりました。

〔四半期製品分類別連結売上高〕

(百万円)

	平成19年3月期 第1四半期		平成20年3月期 第1四半期		前年同期比 増減 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
メモリ	9,364	30.6	9,155	27.2	2.2
ストレージ	11,215	36.7	12,658	37.6	12.9
ネットワーク	5,583	18.3	5,520	16.4	1.1
デジタルホーム	583	1.9	1,371	4.1	135.2
サプライ・アクセサリ	746	2.4	2,098	6.2	181.0
DOS/V パーツ	1,264	4.1	1,028	3.1	18.7
液晶ディスプレイ	1,107	3.6	822	2.4	25.7
サービス	547	1.8	733	2.2	33.9
その他	172	0.6	259	0.8	50.2
合計	30,586	100.0	33,647	100.0	10.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は591億23百万円となり、平成19年3月期末に比べ34億51百万円の減少となりました。流動資産は511億43百万円となり43億52百万円の減少となりました。これは主に、季節変動による受取手形及び売掛金の減少68億52百万円、戦略調達によるたな卸資産の増加50億75百万円によるものです。固定資産は79億79百万円となり、9億円の増加となりました。これは主に基幹システムの再構築にかかわる有形固定資産、無形固定資産の増加6億61百万円によるものです。

当第1四半期末の負債合計は316億55百万円となり、平成19年3月期末に比べ39億57百万円の減少となりました。流動負債は299億3百万円となり、46億42百万円の減少となりました。これは主に前期末に行った株式会社バッファローから株式会社メルコホールディングスへの配当にかかる源泉所得税の支払による減少30億30百万円によるものです。しかし、これは税法上いったん納付しましたが、本来子会社からの配当は非課税のため7月に入りすでに還付を受けています。固定負債は17億51百万円となり、6億85百万円の増加となりました。これは主に今期より連結子会社となった株式会社アーベルの既存の長期借入金4億29百万円によるものです。

当第1四半期末の純資産は274億68百万円となり、平成19年3月期末と比べ5億4百万円の増加となりました。これは主に、当四半期純利益7億77百万円と配当金の支払3億46百万円によるものです。この結果、自己資本比率は平成19年3月期末の43.1%から46.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、平成19年3月期末に比べ15億54百万円減少し、64億24百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は29億63百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益による13億77百万円と売上債権の減少による73億40百万円の資金増加がありましたが、部材の戦略的調達によるたな卸資産増加46億80百万円と仕入債務の減少による29億58百万円の資金減少があり、さらに前期末に行った株式会社バッファローから株式会社メルコホールディングスへの配当にかかる源泉所得税の支払を含む法人税等の支払額が36億52百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は7億52百万円となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入が12億80百万円あったことと、有形固定資産の取得による支出1億59百万円と無形固定資産の取得による支出2億30百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は6億68百万円となりました。これは主に短期借入れによる資金の増加10億円と配当金の支払額3億46百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り囲む市場環境は、第2四半期ではまだ波に乗り切れない状況が続くと思われませんが、下期にはパソコン市場が回復に向かうと思われれます。

ストレージ製品は今後も高い成長が期待されることや、ネットワーク製品の中心となる無線LANは、ゲーム機などパソコン以外にも利用対象を広げ、ホームネットワークの普及を促進すると思われれます。このホームネットワークの普及はパソコンでのテレビ放送視聴やインターネット経由での動画利用などデジタルホームという使い方が広がる前提となります。

この第2四半期では、株式会社アーベルの連結子会社化に伴い、流通在庫の適正化に本格的に取り組む予定であり、在庫消化を目的とした売上値引の発生が見込まれます。また、今が市場開拓のチャンスであるため海外市場で販売積極策を継続する必要があり、費用が先行する可能性やこれまで下がり続けたメモリ製品のコストが緩やかながら上昇に転ずることが予測され、一時的に利益面でのマイナス要因が考えられます。このように、第2四半期では下期以降の成長の布石として、第1四半期に得た余力を活用し、強く機敏に市場環境に対応できる戦略展開を目指します。

当社グループは、幸いにも第1四半期では当中間期の計画に対し高い進捗を果たすことができましたが、平成19年4月26日に公表した当中間期及び通期の連結業績予想に現時点では変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

株式会社アーベルの株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

MELCO ASSET MANAGEMENT LIMITEDについては、当第1四半期において清算終了しているため、清算終了時までの損益計算書のみを連結しております。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

1. 税金費用については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
2. 引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)				%	
I 流動資産					
1. 現金及び預金	9,741	6,546	△ 3,194	△ 32.8	7,979
2. 受取手形及び売掛金	20,999	23,566	2,566	12.2	30,418
3. たな卸資産	10,115	15,803	5,688	56.2	10,728
4. その他	2,209	5,227	3,017	136.6	6,369
流動資産計	43,065	51,143	8,078	18.8	55,495
II 固定資産					
1. 有形固定資産	1,812	1,934	121	6.7	1,796
2. 無形固定資産	108	1,025	917	849.6	502
3. 投資その他の資産	5,771	5,019	△ 751	△ 13.0	4,780
固定資産計	7,692	7,979	287	3.7	7,079
資産合計	50,757	59,123	8,366	16.5	62,575
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	18,151	24,312	6,161	33.9	26,843
2. 短期借入金	2,300	1,000	△ 1,300	△ 56.5	—
3. その他	3,510	4,590	1,079	30.8	7,702
流動負債計	23,962	29,903	5,941	24.8	34,545
II 固定負債					
1. 長期借入金	—	429	429	—	—
2. 退職給付引当金	468	516	48	10.3	482
3. その他	516	806	290	56.2	584
固定負債計	984	1,751	767	78.0	1,066
負債合計	24,946	31,655	6,708	26.9	35,612

(単位：百万円)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(純資産の部)				%	
I 株主資本					
1. 資本金	1,000	1,000	—	—	1,000
2. 資本剰余金	1,927	1,927	0	0.0	1,927
3. 利益剰余金	22,721	24,389	1,668	7.3	23,959
4. 自己株式	△ 19	△ 80	△ 60	309.5	△ 21
株主資本合計	25,629	27,237	1,608	6.3	26,866
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	378	405	27	7.4	259
2. 為替換算調整勘定	△ 198	△ 177	21	△ 10.7	△ 163
評価・換算差額等合計	179	228	48	27.2	95
III 新株予約権	—	1	1	—	1
IV 少数株主持分	1	—	△ 1	△ 100.0	—
純資産合計	25,810	27,468	1,657	6.4	26,962
負債、純資産合計	50,757	59,123	8,366	16.5	62,575

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	30,586	33,647	3,061	10.0	134,547
II 売上原価	25,373	28,252	2,878	11.3	116,369
売上総利益	5,212	5,395	183	3.5	18,177
III 販売費及び一般管理費	3,177	4,097	920	29.0	13,029
営業利益	2,034	1,297	△ 737	△ 36.2	5,148
IV 営業外収益	86	139	52	60.8	436
V 営業外費用	40	35	△ 5	△ 12.5	138
経常利益	2,081	1,401	△ 679	△ 32.7	5,446
VI 特別利益	104	36	△ 67	△ 65.2	259
VII 特別損失	30	60	30	100.0	868
税金等調整前四半期 (当期)純利益	2,155	1,377	△ 777	△ 36.1	4,837
税金費用	1,062	648	△ 413	△ 39.0	2,109
少数株主利益又は少数 株主損失(△)	0	△ 47	△ 47	—	△ 0
四半期(当期)純利益	1,093	777	△ 316	△ 28.9	2,728

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第1四半期連結会計期間 (平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	1,000	1,927	21,955	△ 20	24,862	479	△ 210	268	1	25,132
第1四半期中の変動額										
剰余金の配当			△ 296		△ 296					△ 296
役員賞与			△ 30		△ 30					△ 30
四半期純利益			1,093		1,093					1,093
自己株式の処分		0		1	1					1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 100	12	△ 88	0	△ 88
第1四半期中の変動額合計	—	0	766	1	767	△ 100	12	△ 88	0	678
平成18年6月30日残高	1,000	1,927	22,721	△ 19	25,629	378	△ 198	179	1	25,810

当第1四半期連結会計期間 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	1,000	1,927	23,959	△ 21	26,866	259	△ 163	95	1	26,962
当四半期変動額										
剰余金の配当			△ 346		△ 346					△ 346
四半期純利益			777		777					777
自己株式の取得				△ 59	△ 59					△ 59
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						146	△ 13	133		133
第1四半期中の変動額合計	—	—	430	△ 59	371	146	△ 13	133	—	504
平成19年6月30日残高	1,000	1,927	24,389	△ 80	27,237	405	△ 177	228	1	27,467

前連結会計年度 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
平成18年3月31日残高	1,000	1,927	21,955	△ 20	24,862	479	△ 210	268	—	1	25,132
当四半期変動額											
剰余金の配当			△ 693		△ 693						△ 693
役員賞与			△ 30		△ 30						△ 30
四半期純利益			2,728		2,728						2,728
自己株式の処分		0		△ 0	△ 0						△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 219	46	△ 173	1	△ 1	△ 173
連結会計年度中の変動額合計	—	0	2,004	△ 0	2,004	△ 219	46	△ 173	1	△ 1	1,830
平成19年3月31日残高	1,000	1,927	23,959	△ 21	26,866	259	△ 163	95	1	—	26,962

(4) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期末)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,155	1,377	4,837
減価償却費	117	124	564
売上債権の増減額 (増加は△)	2,749	7,340	△ 6,597
たな卸資産の増減額 (増加は△)	△ 2,336	△ 4,680	△ 2,930
仕入債務の増減額 (減少は△)	△ 788	△ 2,958	7,675
その他	△ 177	△ 526	277
小計	1,720	676	3,826
法人税等の支払額	△ 1,874	△ 3,652	△ 3,315
法人税等の還付額	-	0	844
その他	6	13	24
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 147	△ 2,963	1,379
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の売却による収入	148	1,280	104
投資有価証券の取得による支出	△ 16	△ 93	△ 48
有形固定資産の取得による支出	△ 190	△ 159	△ 422
無形固定資産の取得による支出	△ 5	△ 230	△ 261
その他	△ 7	△ 45	△ 82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 70	752	△ 710
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	-	1,000	△ 2,300
長期借入れによる収入	-	150	-
長期借入金の返済による支出	-	△ 76	-
配当金の支払額	△ 296	△ 346	△ 693
その他	1	△ 59	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 295	668	△ 2,993
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△ 11	69
V 現金及び現金同等物の増加額	△ 494	△ 1,554	△ 2,256
VI 現金及び現金同等物の期首残高	10,235	7,979	10,235
VII 現金及び現金同等物期末残高	9,741	6,424	7,979

(5) セグメント情報

所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成19年3月期 第1四半期）

（単位：百万円）

	日本	東南アジア	北米	欧州	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	26,174	298	2,088	2,024	30,586	—	30,586
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,971	6,641	26	214	10,853	△ 10,853	—
計	30,145	6,939	2,115	2,238	41,440	△ 10,853	30,586
営業費用	28,104	6,894	2,087	2,249	39,336	△ 10,784	28,551
営業利益	2,040	45	28	△ 10	2,103	△ 68	2,034

(注) 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

東南アジア・・・台湾 北米・・・米国 欧州・・・英国、アイルランド

当四半期（平成20年3月期 第1四半期）

（単位：百万円）

	日本	東南アジア	北米	欧州	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	27,785	351	2,531	2,979	33,647	—	33,647
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,246	5,434	1	386	10,068	△ 10,068	—
計	32,031	5,786	2,532	3,366	43,716	△ 10,068	33,647
営業費用	30,643	5,743	2,598	3,458	42,443	△ 10,092	32,350
営業利益	1,387	42	△ 65	△ 91	1,273	24	1,297

(注) 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

東南アジア・・・台湾、シンガポール 北米・・・米国 欧州・・・英国、アイルランド

(参考) 前期（平成19年3月期）

（単位：百万円）

	日本	東南アジア	北米	欧州	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	114,054	810	9,264	10,418	134,547	—	134,547
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	17,735	28,143	43	1,143	47,065	△ 47,065	—
計	131,790	28,953	9,307	11,561	181,613	△ 47,065	134,547
営業費用	126,769	28,713	9,416	11,622	176,522	△ 47,122	129,399
営業利益	5,020	240	△ 109	△ 60	5,091	56	5,148

(注) 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

東南アジア・・・台湾、シンガポール 北米・・・米国 欧州・・・英国、アイルランド